

【 トピックス 】

今回のトピックス担当: 埼玉営業所 宝田

〔 プレキャストトラフ 〕

高架橋上のケーブルトラフの構築は、工事用地に制限がありコンクリートポンプ車の配置箇所が限られ、高架橋上での生コンクリートの圧送や小運搬が手間取り、また、構造が小型であるため鉄筋・型枠組立作業の施工性の悪さ、断面が小さいためかぶり不足を生じやすいなどの問題があった。

プレキャストトラフは、繊維補強コンクリート製で軽量、人力作業ができ、現場作業は敷モルタルで高さ調整後あらかじめ埋め込まれたアンカーボルトに固定するだけの作業なので、工期短縮・経済性向上が図られた。



工事名: 新京成線連立立体交差事業

発注者: 新京成電鉄株式会社

施工場所: 千葉県鎌ヶ谷市 (新京成電鉄 北初富駅・鎌ヶ谷大仏駅間)

納入品名: プレキャストトラフ (JR 東日本・マテラス青梅工業・日本ヒュームの共同特許品)